

# 全教神協広報

第一〇四号

全国教育関係神職協議会

〒一五〇〇五三

東京都渋谷区代々木一丁目

電話 〇三三三七九八〇一

神社本庁内

〒一五〇〇五三

〒一五〇〇五三

〒一五〇〇五三

〒一五〇〇五三

## 教育再生の大事業

全国教育関係神職協議会 副会長 吉田 道明



わが全教神協は、躍進の河合会長時代から篤実な佐藤会長時代に移った。

半世紀ほど前の全教神協は現職会員が多数を占め、教育現場で実践的な活動が展開されていた。会勢も優に千人を超え、神社本庁指定団体として重要な地位を占めていた。

やがて時代は平成も終わろうとす

る今日、わが国全体を覆う人口減・過疎・少子高齢化と歩調を合わせる如く、本会員も今や大半が元職会員となり、全国大会でさえ現職会員をお見かけすることは稀になってしまった。

その現職会員は、相次ぐ教育改革の渦中にあり、対応に身を削る思いであろう。当面する様々な課題への対応、「働き方改革」の流れでの時間の制約、更には授業準備にさえ時間不足等に悩まされている。しかし、そうだとしても現状に甘んじてはいないだろうか。現職教員等研修会・全国大会・そして地区研修会だけでも「めざすべき教育のあり方」について、考え学ぶ機会とできないだろ

うか。さらに、その内容に魅力を感じて教育実践の意欲を高め、「志」ある教育といわれる実践はできないものだろうか。

一方で大多数を占める元職会員はどうか。一般的に現職の方々のような「切実感」や「切迫感」はいかがであろう。磨きあげられ人格と献身的な神社奉務に精励しておられることは容易に想像がつくが、一社のご繁栄にのみ終始し、単なる村夫子に甘んじてはいないだろうか。教職経

全体への視座をもって「美しい日本」を再生しようとする「志」はいかに。現職・元職を問わず、今われわれに求められるのは「志」なのではないか。昨年六月の現職教員等研修会において、講師の新保祐司先生は、「国際政治学者ハンチントンが一国一文明だとする、わが国の文明を守るという問題意識の欠如」を指摘された。全教神協は、実践的な活動をもつて教育再生の大事業に携わっていると自覚したいものである。

### 第六十回全国大会・中央研修会

新しい御代——一歩前へ——

御代替りの年、第六十回東京大会を迎えますこと、会員一同喜びと共に身の引き締まる思いであります。昭和三十五年激動期に結成された本会も昭和・平成を経ておよそ六十年。改元を機に結成時の「もつつ心」を礎に、多様化社会の中で新生日本を踏まえ、時代に即応した「一歩前」の大会を、変貌している渋谷で開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

東京都教育関係神職協議会会長 岡部定征

- 一、日時 八月八日（木）、九日（金）
- 二、会場 國學院大學（渋谷区）
- 三、主題 「輝かそう日本人の誇り、正そう日本の教育」

※正式なご案内は改めて文書にてお送りします。  
※渋谷の街、界限かなり変貌しておりますので、ご確認の上お越し下さい。